

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

謹賀新年

己亥の年頭に当たって
一災・才から進・新の年

和歌山ろうさい病院

病院長 南條 輝志男



平成31年・己亥（つちのと・い）の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。
皆様におかれましては、佳き新春をお迎えのことと存じます。

昨年は皆様におかれましては、如何な一年でしたでしょうか？

国内外では立て続けに大災害に見舞われ、特に近畿では台風21号の直撃による関西国際空港への連絡橋破損で、経済的大打撃を受けました。当院では長時間の停電となり、その対応に苦慮しました。そして、清水寺の今年の漢字は「災」と発表されました。

一方、明るいニュースとして、本庶 佑博士のノーベル医学生理学賞ご受賞や、平昌オリンピック始め多くの国際大会で大活躍する日本人スポーツ選手達など、日本人の文武両道における素晴らしい「才能」が輝いた年でもあったと思います。当院でも、谷本 敏副院長（産科医療功労者厚生労働大臣表彰）・小林康人副院長（和歌山県病院大会優秀職員会長表彰）・打越友美子師長（和歌山県病院大会永年勤続者会長表彰）の「才」が高く評価されましたことを謹んでご報告申し上げます。

和歌山ろうさい病院では、地域住民の皆様方のご支援のお蔭様で、昨年も健全な病院運営がなされています。昨年4月1日には中谷如希整形外科部長、北山淳一第二救急科部長、岩田勝栄第三整形外科部長、中村憲太整形外科副部長、下松達哉皮膚科部長をお迎えし、診療レベルは更に充実しました。

また、3月11日の東日本大震災の日にドクターヘリを使った災害訓練と市民公開講座を行い、近隣の皆様にドクターヘリに対するご理解を深めていただくことが出来、4月から平常時でも県や医大からの要請があればいつでもドクターヘリの運航が可能となりました。また、10月20日・21日の2日間にわたり、和歌山市で第66回日本職業・災害医学会学術大会を主宰させていただき、全職員のチームワークで無事盛会裡に終えることが出来ました。

今年は己亥の年です。イノシシで思い浮かぶのは「猪突猛進」ですが、これは目的に向かって周りの迷惑も顧みず突進するというので、あまりいい意味には使われません。しかし、「己」の字は3本の平行線を形どったもので、条理が整然としている状態を意味します。従って、今年は論理的に筋道を考え、その方向に猪突猛進すべき年と言えるかも知れません。また、今年は新元号になり、何をしても新たな事象となります。「進」「新」の本年が皆様にとりまして、ご多幸の年となりますよう、祈念申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail:soumu@wakayamah.johas.go.jp URL:http://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

院内肝炎コーディネーター

「院内肝炎コーディネーターが活動を始めました」

慢性肝炎は症状がなく、放っておくと知らない間に、肝硬変、肝癌に進行し、命を落とす病気です。慢性肝炎の原因には、B型やC型といった肝炎ウイルスの感染、お酒の飲み過ぎや食べ過ぎでなる脂肪性肝炎、自分の免疫の異常が原因になる自己免疫性肝炎などがあります。特にウイルス性の慢性肝炎は、先進国の中で日本が一番多く、感染が拡大した最大の理由は医療行為によるもので、国の医療行政に責任があります。医学の進歩により、これまで治療が困難であった抗ウイルス治療が確立され、ほぼウイルス性慢性肝炎が治る時代になり、肝硬変、肝癌を予防することができるようになりました。

しかしながら、未だ適切な最新の医療が受けられずに救済されていない肝炎ウイルス感染者がたくさんいます。不幸にも肝炎ウイルスに感染した被害者を救済するために、行政は、肝炎ウイルス検査費の無料化、肝炎ウイルス治療費の助成、給付金など様々な支援策を行っています。その一つとして、肝炎ウイルス感染者の支援を中心となって行う肝炎コーディネーターの育成が自治体によって開始され、当院には現在4名の肝炎コーディネーターの有資格者がいます。

最適な肝炎治療を受けるには、肝臓専門医の受診が必要です。当院ではまず、2018年7月より、院内で手術前などに行われる肝炎ウイルス検査陽性者に対して直接、肝炎コーディネーターが肝臓専門医の受診勧奨を行い、肝臓専門医でない先生方と専門医との間の連携を支援することから始めました。肝臓専門科以外の術前等の肝炎ウイルス検査の結果、陽性であった患者さんに、肝炎コーディネーターから直接、患者さんに文書を添えて結果を報告します。そして、ウイルス性慢性肝炎についての正しい知識を説明し、肝臓専門医により精密検査と治療方針の決定をしてもらうようにお勧めします。この肝炎コーディネーターによる肝炎ウイルス検査陽性結果説明と肝臓専門医の受診勧奨により、7月から12月のわずか半年間で、C型肝炎で21名、B型肝炎で14名が、肝臓内科に新たに受診され、C型6名、B型1名に最新の抗ウイルス治療が導入されました。また1名で肝癌も発見されました。また、治療費助成などの制度利用の説明や就労支援も、肝炎コーディネーターが行っており、患者さんが最適な医療を安心して受けられるようがんばっています。

今年、新たに5名の肝炎コーディネーターが誕生する予定です。まだ適切な医療がうけられていない患者さんを最適な医療に結びつけるため、これからもきめ細かい充実した患者支援を行って参りますので、肝炎コーディネーター活動のご理解、ご支援の程よろしく願いいたします。



中央放射線部

放射線科部長 三谷 康幸

新年あけましておめでとうございます。

労災病院が現在地に移転してはや10年がたちました。

労災病院中央放射線部は臨床放射線技師15名で業務を行なっております。

放射線科には医師が2名在籍しております。

中央放射線部では日々の診療に必要な各種画像検査、がんの放射線治療を行なっています。

放射線科医師は各種画像検査の読影、放射線治療患者の診察を担当しています。

その他画像診断装置を用いた血管内治療（カテーテル治療）も行なっています。

頭頸部は脳神経外科、心臓・血管は循環器科、腹部は放射線科で担当しています。

画像検査では周辺診療所や病院から御紹介いただいた患者様の画像検査も担当しています。

検査結果はフィルムあるいはCD-Rでデータをお渡ししています。

CTやMRIが主体ですが、レントゲン撮影やバリウム検査、骨密度検査、核医学検査なども対応させていただきます。

MRI検査では1.5テスラと3テスラの2種類の機器を備えております。

3テスラMRIは導入から約2年が経過し、安定した精細な画像が提供できていると自負しております。

とくに頭部や関節、脊椎は実際に画像を見ていただきたいと思っております。

非常に強い磁場での検査のため、体内金属や刺青をはじめ制限項目がございますが、一度ご相談いただき検査に利用していただきたいと考えております。

また、今年1月から新しいマンモグラフィの機器が導入されました。

検査を希望される方は当院健康診断部にお問い合わせください。

これからも地域医療に貢献すべく、一同がんばって参ります。



私たち「がん化学療法看護認定看護師」です

香 港 的 外 来
津 野 上 佳 南 6 階 病 棟

病棟、外来に1名ずつがん化学療法看護認定看護師が勤務しています。認定看護師として、抗がん剤治療を安全かつ安心して受けていただくために患者様からの相談を受け、担当医師や薬剤師と連携しチームで取り組んでいます。また、化学療法を担当する看護師には、薬剤の知識や治療内容について指導や教育を行ない、質の高い看護提供に努めています。今後も微力ですが病院内にとどまらず、がん治療や看護に関する相談を受け、支援させていただきたいと考えています。

世界糖尿病デーについて

現在、世界の糖尿病人口は3億8,700万人に上っており、日本が位置するアジア・太平洋地域の患者数は1億3,800万人と全世界の約1/3の糖尿病患者がこの地域に集中しています。我が国においても、糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2,000万人に上り、早急な対策が迫られています。

このような状況を踏まえ、国際連合（国連）は、「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20日に国連総会で採択しました。同時に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。わが国ではこの日を含む1週間を全国糖尿病週間と定め日本糖尿病協会と日本糖尿病学会の共催で全国一斉に行われることになりました。

2018年のテーマは加齢や疾患などにより筋肉量が減少し身体機能の低下が起こるサルコペニアでした。当院では「サルコペニア～筋肉量 保つてのばそう 健康寿命～」世界糖尿病デー in 和歌山ろうさい病院と題して平成30年11月16日（金）に院内の災害医療研修棟で下記のようなイベントを開催しました。



基 調 講 演：「糖尿病とサルコペニア」 南條 輝志男 先生

ミニレクチャー：「レッツ チャレンジ 筋肉貯筋！ ～食べて 動いて 老化防止～」

①**運動 中央リハビリテーション部長 田上光男 先生**

②**食事 栄養管理室長 森 友美 先生**

イベントの部：各種無料測定（血糖値・血圧・肥満指数・体成分分析）展示・医療相談・お薬相談・看護／フットケア・栄養相談・体力測定

ぜひ皆さまも毎年開催される世界糖尿病デーのイベントに参加して、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防にむけた一歩を踏み出していただきたいと思います。

「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

医療法人 鶴寿会 酒井内科

診療科目 内科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、消化器内科、
呼吸器内科、循環器内科、漢方内科

住 所 〒640-0103 和歌山県和歌山市加太939-10

電 話 073-459-2277



さかい ひでお
理事長 酒井 英夫 先生



さかい しげお
院長 酒井 重雄 先生

酒井内科は1982年7月に和歌山市加太に開院されました。2017年1月には医療法人鶴寿会 酒井内科として法人化し、同年8月に「居宅介護支援事業所さかい」、9月に通所リハビリテーション施設「デイケアさかい」を開設され、地域に密着した「まちのお医者さん～かかりつけ医～」をモットーに、患者様との対話を重視し、一人ひとりの患者様に信頼される真摯な診療をされています。



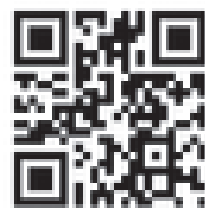
内科系を専門に診察をされていますが、さまざまな症状についての窓口となる総合医療の提供をされており、肘や膝等の関節の痛みに対してのヒアルロン酸注射等の整形外科的な治療もされています。

通院困難な患者様のための無料送迎車や、トイレのバリアフリー化、スロープの取り付けなどもされており、患者様目線によるサービスの向上を実施されている医療機関です。

和歌山労災病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

酒井内科 診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9時～12時)	○	○	○	○	○	○	休
午後 (16時～18時)	○	○	○	休	○	休	休

※土曜日のみ理事長（酒井英夫先生）外来となります
※休診日：木曜・土曜午後、日曜、祝祭日、年末年始



酒井内科ホームページは
こちらから

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 平成31年1月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	若崎 久生	三長 敬昌	北原 千愛	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男	-	-	-	
神経内科	A	⑪番	梶本 賢輔	松本 拓也	休診	梶本 賢輔	梶本 賢輔	-
		⑭番	-	-		松本 拓也	-	
		⑯番	小上 修平	-		-	-	
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	大岩 健洋 (午前)	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	岸本 祥平	細 隆信	庄野 剛史	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	岸本 祥平	-
消化器内科	B	⑪番	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	-
		⑫番	高尾 政輝	江守 智哉	高尾 政輝	内視鏡センター 垣本 哲宏	垣本 哲宏	
		⑬番	玉井 秀幸 (肝臓内科)	休診	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	
循環器内科	A	⑧番	有田 祐	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	火・木
小児科	C	⑨番	当番医	-	当番医	-	当番医	-
		⑨番	青柳 憲幸	青柳 憲幸	大元 浩明	青柳 憲幸	小森 有紀	
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	長谷 朋香	小森 有紀	長谷 朋香	
		特診⑨	小森 有紀	-	大元 浩明	青柳 憲幸	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	大元 浩明	青柳【予防接種】	長谷 朋香	小森 有紀	-	
心工コー	-	-	-	1・3週 心工コー 根来 博之	-			
外科	B	⑦番	小林 康人	坂口 聡	岩橋 誠	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	山本 基	清水 敦史	坂口 聡	胃・大腸・食道 岩橋 誠	清水 敦史	
		⑨番	-	-	-	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	青龍センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	岩橋 弘樹	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	当番医 【紹介新患診】	中村 憲太	山東 茂樹	大西 麻紀子	山東 茂樹	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	
		⑨番	大西 麻紀子	岩橋 弘樹	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週】 藤本 伸生 【第2・4週】 田中 克典 山下 実輝	-	安藤 宗治 第1又は第2週目	
		⑩番	-	-	-	-	山下 実輝	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	-	辻 栄作	-	林 宣秀	
		⑭番	榎本 博記	-	榎本 博記	-	辻 栄作	
		救急特診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		救急特診	当番医	当番医	玉置 剛司(午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	⑬番	休診	当番医 (呼吸器・乳腺外科)	玉置 剛司(午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	休診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	丸山 希実子	下松 達哉	火
		②番	川口 亜美		川口 亜美	丸山 希実子	丸山 希実子	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	森 壽史	休診	鈴木 淳史	休診	水・金
産婦人科	D	②番	森 壽史	梅本 秀俊	小林 智子	当番医	小林 智子	火・木
		⑩番	竹中 由夏	当番医	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑪番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	尾谷 功	尾谷 功	尾谷 功	
眼科	D	⑤番	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳	休診	芦田 淳(午前)	月・木
		⑥番	鈴木 映美	鈴木 映美	鈴木 映美		-	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	-		-	-	-	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-
放射線科	D	2診	当番医	峠 康	-	-	-	-
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健			
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 【予約制】 A⑦番 D⑯番	-	第2週 婦人科外来 柳川 百世 第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美 第1週 漢方外来 松本 朋子	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子 第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-	-
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史 肥満外来(1500~1800) 中 啓吾	-	-

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
お申込みは、助産師医療センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
10. 前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約を頂きますよう
お願いいたします。

《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない
場合があり、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生
いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》

【予約専用電話】 073-451-3186

お問い合わせは 和歌山ろうさい病院 医事課

TEL.073-451-3181(代)
FAX.073-451-3788(医事課直通)